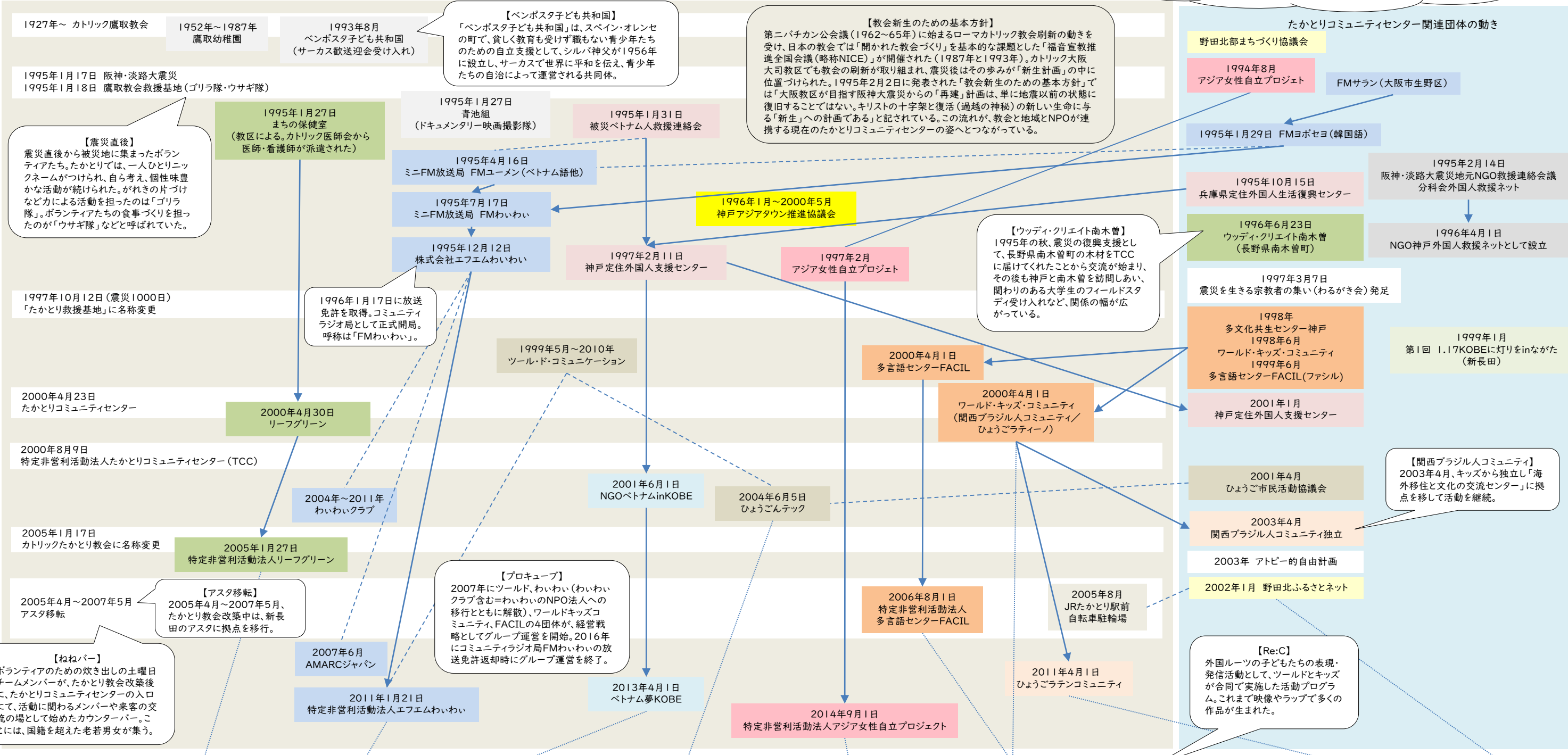


阪神・淡路大震災から10000日を迎えて たかとりコミュニティセンターの歩み

ゆるゆる多文化、いとをかし



カトリックたかとり教会
フランス人宣教師たちによって1927年に設立。アジアの人々が暮らす町の中にあり、日本人だけでなくコリアの人たちも集う教会としてスタート。1950年には幼稚園もでき、地域とのつながりが深まっていた。1980年代からはベトナム難民の人たちも加わり、アジア的で多文化な教会として歩み続けてきた。1992年にベトナムからキリスト像もやってきた。1995年に被災したが倒れず立ち続けた。奇跡のキリスト像と言われ、救援活動のシンボルとなり、人々が交わる教会として再スタートした。

特定非営利活動法人リーフグリーン
高齢者や障がいを持っていても、住み慣れた地域で助け合ってもらえるように、介護保険制度・障害者自立支援制度はもとより、対象から外れた方のお手伝い（ホームヘルプ、移送サービス、便利屋、ゴミ出しサポート、子育て支援）をしています。また、出会いの場としての「ゆいカフェ」を実施し、お互いが生き生きと安心して暮らせる地域社会を目指しています。

特定非営利活動法人エフエムわいわい
「多文化共生と人間らしいまちづくり」をコンセプトに多様な市民が番組づくり、発信するコミュニティ・メディアです。発信だけでなく「まち」の人々が集い、生の情報交換と新たな知恵を創造するサロンにもなっています。インターネットの特性を生かし、長田と世界をつなぐポータルサイトをめざしています。また国内外の被災地で防災力向上の取り組みを実施、AMARC（世界コミュニティラジオ放送連盟）の日本の窓口でもあります。

ベトナム夢 KOBE
ベトナム人と日本人で構成されたメンバーによって、多様な文化的背景を持つひとによって住みやすいまちづくり、多文化共生社会の実現に向けて、さまざまな活動を行っています。ベトナム語による生活相談、子どもための母語教室・学習支援教室、日本語教室の発行、学校でのベトナム文化紹介、インターネットラジオ番組制作など、ベトナム人と日本人との相互理解を目指した活動を展開しています。

ひょうごんテック
NPO活動・市民活動の現場では、ICT（情報通信技術）はなくてはならないものです。ICTに伴う様々な問題を解決し、効果的に活用できるよう、IT支援の団体や人のネットワークづくりを目指しています。さらに自由に使うことができないOSS（オープンソースソフトウェア）の活用も進めています。TCC内の団体も含め、団体へのアドバイスや下支え、講座を開催するなどの活動をおこなっています。

特定非営利活動法人アジア女性自立プロジェクト (AWEP)
フィリピンから日本に働きに来た女性たちの帰国後を支援するために1994年に設立しました。彼女たちの仕事づくりのためにフェアトレードの製品開発と販売を行うとともに、阪神・淡路大震災以降は、神戸を中心に外国人女性の相談や情報提供などを行っています。国籍、性別、民族などの違いに関わりなく、一人ひとりが主体的に生きることのできる社会を皆さんとともに創りたいと考えています。

特定非営利活動法人多言語センターFACIL
地域住民である外国人が必要とする情報の翻訳、生活現場で必要な通訳者の派遣など、地域の多言語環境を促進し、また外国人を含む地域の住民や行政機関、医療機関、地域の企業などからの多言語・多文化ニーズに様々な形で応えています。専門分野でありながら「ボランティア」の領域であった活動をNPOのコミュニティビジネスとして70言語で展開しています。

ワールドキッズコミュニティ
滞りが長期化している外国人にルーツをもつ子どもたちを取り巻く環境改善のため、誰もが自分のアイデンティティに自信をもてるような青少年育成活動と、親たちの平等な社会参画を目指し、外国人コミュニティとの連携で活動を展開しています。さらに多文化な子どもたちによる表現活動「Re:C」や言語形成のための教育を考える活動にも取り組んでいます。2022年度より、FACILの中のプログラムとして活動を続けます。

一般社団法人ひょうごラテンコミュニティ
2000年よりワールドキッズコミュニティ内で活動を始め、2011年に団体として独立し、2022年に一般社団法人となりました。南米出身者自身も中心となり、スペイン語圏出身住民の日本社会での生活向上と社会参画に向けたコミュニケーションの促進、地域住民との交流などの取り組みを続けています。スペイン語による生活相談、月刊誌やラジオ番組制作、子どもの母語/学習支援教室などを進めています。

野田北ふるさとネット
野田北ふるさとネットは、野田北部地域を愛する組織・団体・個人のネットワークです。震災復興まちづくりの経験を生かし、日常の地域課題解決に協働し、積極的に取り組んでいます。また、それら活動のプロセスで学んだ事例を、内外に発信しています。